



Title	コンテンツツーリズム：メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム
Author(s)	山村, 高淑; シートン, フィリップ
Citation	i, 1.-, 382. 本書は北海道大学出版会から2021年に紙媒体で出版したものを、紙媒体絶版を期に、出版社の許可を得て、北海道大学観光学高等研究センターが電子版としてオープンアクセス化したものです。
Issue Date	2024-04-01
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/91559
Type	book (author version)
Note	本書から引用を行う場合は、書誌情報を以下のようにご記載下さい。 山村高淑, フィリップ・シートン 編著・監訳, [2021] 2024, 『コンテンツツーリズム メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム』, 北海道大学観光学高等研究センター.
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	01_forTranslasion.pdf (個別ファイル：日本語版出版に当たって)



[Instructions for use](#)

本書から引用を行う場合は、書誌情報を以下のようにご記載下さい。

山村高淑，フィリップ・シートン 編著・監訳，[2021] 2024，『コンテンツツーリズム——メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム』，北海道大学観光学高等研究センター．

日本語版出版に当たって

本書は、2020年1月にチャンネル・ビュー・パブリケーションズ(Channel View Publications)から英文で出版された *Contents Tourism and Pop Culture Fandom: Transnational Tourist Experiences* の、日本語による全訳です。

日本語版の出版をお認めいただいた同社、ならびに日本語版の出版をお引き受けいただいた北海道大学出版会に、厚く感謝申し上げます。また、本書の出版に際しては、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院ならびに同メディア・コミュニケーション研究院より多大なるご支援を賜りました。記して謝意を表します。

翻訳については、本書を構成する章のうち、序論、第4、6、7、8章はそれぞれの章の著者自身が、それ以外の章については山村高淑、フィリップ・シートン、田島エミリが翻訳に当たりました。そのうえで、全編の日本語訳監修を山村とシートンが行ないました。

なお、原文(英語)から日本語に翻訳する際には、以下のルールに従い、記述をしています。

【人名】日本人名(および漢字で表記できる人名)以外については、以下のルールに従い記述しました。

- ・本書の編者・著者の氏名については、原語に近い音を当てたカタカナで氏名を表記しました。原語での氏名は、著者紹介欄に記しています。
- ・論旨上、重要だと思われる人物名については、原語に近い音を当てたカタカナにて名・姓の順で表記しました。なお各章初出時に、カタカナ表記に続き()を付して原語を併記しました。各章初出より後は原則カタ

カナ表記のみとしています。

- ・それ以外の人物名(引用・参考文献の著者名等)や、カタカナ表記が困難な人名については、原語のまま名・姓の順で表記することとしました。

【地名】通常、日本語の定訳のある地名以外については、以下のルールに従い記述しました。

- ・論旨上、重要だと思われる地名については、原語に近い音を当てたカタカナにて表記しました。なお各章初出時に、カタカナ表記に続き()を付して原語を併記しました。各章初出より後は原則カタカナ表記のみとしています。
- ・それ以外の地名や、カタカナ表記が困難な地名については、原語のまま表記することとしました。

【人名・地名以外の用語】

- ・各章における重要な用語で原語の併記が必要であると思われる語については、各章初出時に、日本語表記に続き()を付して原語を併記しました。なお各章初出より後は原則日本語表記のみとしました。

【作品名(書籍名、論文タイトル含む)】本文中で日本語以外の書籍名や映画等作品名を記載する場合は以下のルールに従い記述しました。

- ・公式な邦題が存在する場合は、各章初出の箇所において、『』内にまず邦題を記し、それに続けて()を付した斜体の原題を併記します。各章初出より後の表記については、邦題のみとします。
- ・公式な邦題が存在しないもの(国内未刊行、未公開等のもの)については、邦題を記さず斜体による原題表記のみとします。
- ・なお、公式な邦題が存在しないもののうち、論旨上、重要な書籍や作品については、必要に応じて、編者による訳で邦題を記す場合もあります。その場合は、編者訳である旨を注記しました。

本書の元となった英文書籍 *Contents Tourism and Pop Culture Fandom* は、欧

州、アジア、オセアニア、北米という複数の大陸から集まった研究チームによる国際共同研究の成果として英文で発表されたものです。研究チームのメンバーは、まさに同書のタイトルどおり、国境を越えて旅をし、集まり、コンテンツツーリズムについての議論を重ねてきました。そしてさらに、メンバーの皆さんには、日本語版の出版企画に対してもご快諾をいただきました。同書はそうした国境を越えた友情の結晶です。その日本語版を出版できることを、著者一同大変嬉しく思います。

本書は学術書としてまとめられたものではありませんが、旅を楽しむようにページを読み進めていただければ、編者としても望外の喜びです。

2021年3月

編著・監訳

山村高淑，フィリップ・シートン